

平成27年度第1回庄内町スポーツ推進審議会 議事録

○日時：平成27年7月8日（水）午後2時～午後4時

○場所：庄内町総合体育館 研修室

○出席者

・委員：齋藤正明、時吉久美子、佐藤正弘、榎誠司、梅木隆、齋藤雅志、遠田雅弘、
計7名出席

・事務局：社会教育課長 本間俊一、総合体育館長 佐藤勝喜、
社会教育課スポーツ推進係長 小林重和

会議次第

1 開会

2 委嘱状交付

3 教育長あいさつ

4 会長及び職務代理者の選任について

5 会長あいさつ

6 議事録署名委員の指名

7 報告

(1) 平成27年度庄内町教育委員会の重点と視座について

(2) 平成27年度庄内町社会教育の基本方針と重点施策について

(3) 平成27年度スポーツ推進係事業概要について

8 協議

(1) 庄内町教育振興基本計画の策定について

9 その他

10 閉会

4 会長及び職務代理者の選任について

会 長：庄内町体育協会会長 梅木 隆

職務代理者：庄内町スポーツ少年団本部長 齋藤 雅志

6 議事録署名委員の指名

齋藤正明、時吉久美子

7 報告

(1) 平成27年度庄内町教育委員会の重点と視座について

(事務局より資料説明)

【 委員 】

一点目。ひまわりマラソンについて、現在は田畑の中をコースとして設定しているが、沿道から声援をいただけるようなコース設定を、警察に協力を仰ぎながら、検討してはどうか。

二点目。南三陸町との交流推進について、あえて記載した理由はなにか。

【 事務局 】

一点目。ひまわりマラソンのコースについては今後検討していく。

二点目。南三陸町との交流は今後も大切にしていきたいとの町長の考えがある。その他様々な交流があり、そちらも大切にしていきたいため記載している。

【 委員 】

他のマラソン大会に出場すると、豪華な賞品が提供されている。ひまわりマラソンの魅力向上のために検討してはどうか。

【 事務局 】

観光という視点も交えながら、今後検討していく。

(2) 平成 27 年度庄内町社会教育の基本方針と重点施策について

(事務局より資料説明)

【 委員 】

社会体育施設の耐震改修について、どのように進めていくのか。

【 事務局 】

耐震基準を満たしていない部分、余目地域については武道館、立川地域については体操センター、清川体育館、立谷沢体育館、体育施設ではないが、大中島自然ふれあい館 森森の体育館、図書館。図書館については事情が複雑であり、合併特例債が H35 年まで延長されたため、その間で検討していく。武道館について、町長の意向としては、あるものを改修して使用していくという考えがある。しかしながら、構造上耐震改修では難しいところがある。体操センターについて、庄内総合高校体操部から体操専用体育館との関係がある。清川歴史公園整備基本構想の具体化の進め方、立谷沢体育館は、土砂災害警戒区域に指定されているため、立て替えるのは難しく、また場所の確保が難しい。利用率、人数と費用対効果の面を考慮しながら、避難施設として必要だという強い要望が住民からある。体育施設という範疇だけで考えられない。以上を勘案しながら進めていくが、時期については現段階で未定である。

【 委員 】

災害時の避難場所として使用する観点から見ると、早期の整備が必要ではないか。

【 事務局 】

学校の耐震補強、狩川公民館の耐震改修を行ってきた。今後各施設、順に改修を進めていく。

8 協議

(1) 庄内町教育振興基本計画の策定について

(事務局より資料説明)

【 委員 】

一点目。評価指数について、人口減少を考慮した数字になっているのか。率として記載してはどうか。

二点目。幼稚園、小中高校の連携ビジョン、保健福祉課との連携を明記してはどうか。

三点目。運動の二極化の視点を明記してはどうか。

四点目。競技に参加していないとスポーツしていないととらえている人が多いのではな
いか。ウォーキング等健康づくりに取り組んでいる人も、スポーツに取り組む人ととらえ
るべきではないか。

【 事務局 】

数値については見直しをかけていく。

幼小

全体構想それぞれでやっていて、連携が弱い

評価指数を率で表現すると、分母と分子をどうするか、という問題が出てくる。競技ス
ポーツに取り組む人とウォーキング等の健康づくりに取り組む人、どこまでを対象とする
のか。また、ウォーキング等に取り組む方の人数を把握するのは難しい。わかりにくい数
字で表すよりも、誰が見てもわかる数字で示すことが必要と考えるが、率で示す場合の意
見をいただければと思う。

スポーツ少年団、体育協会、小中高、保健福祉課との連携については、スポーツ推進計
画の中に盛り込んでいく。

【 委員 】

現在町民のメタボ率はどのくらいなのか。運動量を設定したうえで数年後のメタボ率を
表すことはできるのではないか。参考にしてみたいかがか。

【 事務局 】

人数ではなく、健康の度合いを数値で表してはどうかという意見もあった。

町民の健康という部分となると、社会教育だけの数字とはいかない場合がある。保健福
祉課との連携が必要になると考えるが、検討していく。

【 委員 】

「健康増進」という文言を省いてはどうか。

【 事務局 】

中高年では競技力向上より健康増進の意識でスポーツに取り組んでいる人が多いと感じ
ている。保健福祉課等、横の連携が必要と思う。

【 事務局 】

健康という視点を盛り込めないか検討する。

9 その他

【 事務局 】

清川八郎顕彰剣道大会実行委員会補助金について、旧清川小学校校舎老朽化により控室として利用ができない状態にあり、十分な控室が確保できず大会運営が難しいため、平成27年度から休止すると団体から報告があった。9月に減額予算措置を行うことを報告する。